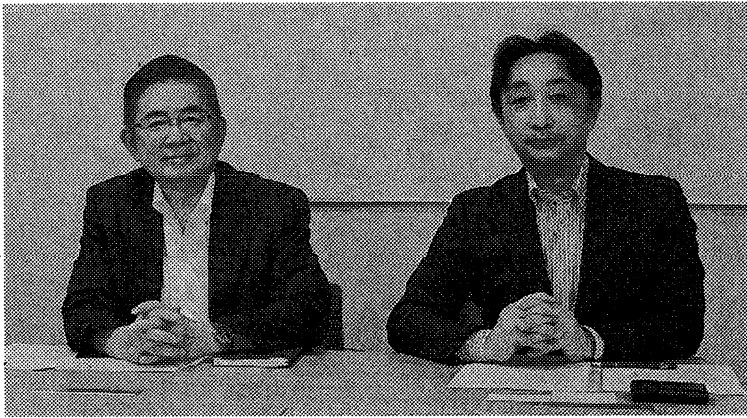


4月 エンジニヤ会社を合併

21年

カグラバーパーテック
テック
一元化し基盤強化

カグラバーパーテック（KV、本社・尼崎市、玉井健一社長）は来年4月1日、グループ会社で高圧ガス設備検査分野で設計、施工、関連機器の



記者会見をする玉井健一社長（左）と宮寺保如取締役

製造販売、メンテナンスなどのアフターサービスまで一体となって取り組み、LPガス業界への提案力を強化する一方、海外事業や水素分野への進出を加速させる。エネルギー

業界を取り巻く環境の変化に対して、柔軟に対応するため吸収合併を決めた。合併により経営資源の効率的配分、指揮命令系統の一元化、研究開発の推進、損益管理の徹底、営業力の強化などを図る。KEが保有する指定保安検査機関や高圧ガスプラント認定検査事業者などの資格、認定はKVが引き継ぐ。KEと顧客との契約、KEの有する債権や債務はKVが承継する。KEの従業員は全員、KVに移る。KEの事業はKV内に専門部署を設け、引き継ぐ方針。玉井社長は会見で「合併を機にLPガス業界へのビジネスを深掘りする。また、海外事業を強

化し、KEが有する検査技術を生かしたい。新分野では水素エネルギーを有望視している。ステーションのメンテナンスを入り口として、製品開発にも取り組みたい。来年4月までの合併期日まで万全の準備を行い、お客さまに不便のないよう努

める」と述べた。

【カグラバーパーテック】1958年2月設立。資本金5700万円、従業員数85人、売上高約25億円

【カグラエンジニアリング】73年10月設立。同1200万円、同34人、同約10億円

2020年6月22日付
プロパン・ボタンニュース